

Janmadin kī Jay Jay!

ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ！

グルマーイの誕生日のお祝いの報告
シュリー・ムクターナンダ・アーシュラム
2016年6月23－30日

第8部

神聖な美德の合唱 ヴァイシュナヴィ・ルイス

「ジョータ・セー・ジョータ・ジャガーオー」を歌うために皆が立ち上がったとき、夏の太陽はシュリー・ニーラーヤをまだらな光で満たしていました。

プージャーリのラーヴァンヤ・マヴィラパリは、クムクム、ターメリック、米、花、そして火を灯したギーのランプを載せたトレイを持ち、グルマーイの方へ歩いていきました。私たちが歌っている間、ラーヴァンヤは私たち皆に代わってグルマーイにアーラティーをささげました。ラーヴァンヤを見ることは——彼女がささげている行為の中に表現されている私たち自身の献身を見ることは、気持ちが高まるものでした。ゆっくりと優雅な円を描いてアーラティー・トレイを動かしながら、彼女は目を輝かせてグルマーイを見つめていました。

アーラティーが終わり、「サッドグルナートゥ・マハーラージ・キー・ジェイ！」の最後の音が静けさの中に溶け込むと、ホールはバクティでいっぱい満たされたようでした。

それからグルマーイは、サツァングの最初にした神聖な美德、サッドグナ・ヴァイバーヴァの発表について話しました。発表者たちが初めに言った美德をもう一度言うよう、グルマーイは要請しました。「私はあなた方が美德を言うのを、もう一度聞きたいです」と、グルマーイは言いました。「一つ一つの美德が本当に着地できるように、それを言いなさい。時間を取りなさい。あなたの心の中に行き、そしてあなたの心にその至福を浸透させなさい。それから、黄金の大皿の上に載せて、私たちにその美德を贈りなさい」

ドラムの連打が始まり、そしてホールは再び神聖な美德の合唱で満ちあふれました。

「豊富！」

「均衡」

「慈悲」

スワーミ・ヴァースデーヴァーナンダが「浄福」と言うと、ダイアン・マッキンタイアは再び踊り始めました。

グルマーイはダイアンに、皆が彼女の踊りを見られるようにホール全体を使って踊るように招きました。ダイアンが踊ると、グルマーイはミュージシャンに美德「浄福」を繰り返すよう求めました。

「浄福！」ダイアンはホール中を歓喜にあふれて踊りました。「浄福！」波打つような腕の動きの一つ一つ、そして彼女の足の一步一步が喜びで輝きました。「浄福！」すべての動きが、崇拜として彼女の心から流れ出ているようでした。「浄福！」踊りが終わると、拍手喝采が鳴り響きました。

美德の発表は続きました。一人の少年が最後の美德「熱意！」と熱狂的に声を上げた後、私たち皆が笑い、そして再び手をたたきました。

ホールが静まると、グルマーイは「とても明確に、ダイアンは、美德を具体的に表現することについての私の話をしっかりと心に留めています」と言いました。グルマーイはスワーミ・イーシュワラーナンダに、ホールの前で皆にダイアンを紹介するように言いました。スワーミジは、ダイアンに前に来るように手招きしました。

スワーミ・イーシュワラーナンダは、ダイアンは著名な振付師でありダンサーで、数多くの受賞歴があることを説明しました。彼女は、1985年からシッダ・ヨーガの教えを実践しており、当時から定期的にセーヴァーをささげてきました。1999年から2003年までは、シュリー・ムクターナンダ・アーシュラムのライブ・イベント部門でスタッフとして奉仕しました。スワーミジはダイアンの多くの業績と彼女の

エスワイディーエー・ファンデーションの活動への貢献について話し、私たちは感謝のしるしとして拍手喝采を送りました。

ダイアンはグルマーイの方を向いて言いました。「私は準備のすべて、演技のすべてをささげます——私はそれらのすべてをグルマーイ、あなたに日々ささげます。私はリハーサルをするとき、クラスで教えているとき、自分の仕事をあなたにささげています。ですから、長年にわたって私が受けてきた名声や幸運のすべては、愛するグルマーイ、あなたの恩恵によるのです」

理事でありプラサード・プロジェクトの代表者であるハリエット・コールは手を挙げました。彼女は言いました。「ある物話を話したいと思います。23年前、私が最初の本を書いたとき、グルマーイに、本を書くことについて何か私に指導することはありますかと尋ねました。グルマーイは『ダイアン・マッキンタイアと話さない』と言いました」

ハリエットは続けました。「私は『まあ、どうして』と思いました。でもグルマーイの指導に従いました。そしてダイアンは寛大にも私と共に座り、私の本の概説をくまなく読んで——言葉の一つ一つまで！——そして、でき得る限り本が良くなるようにと、私に多くの質問をしました。

「それから本が完成して、私が国中を回るとても大がかりなツアーに出ることになったとき、ダイアンは私に言いました。『話し始める前に、ジャパをしなさい、そうすれば緊張しません。あなたは仕事を通してグルを敬うことになるでしょう』。そして、それ以来毎日そのようにして、緊張しなくなりました。私は、グルの愛に

基盤を得て、強く、集中できるようになったと感じます。とても寛大なダイアンという贈り物を私に授けてくれた私のグルに感謝しています」

サツァングのこのときまでに、私たちの心は喜びと愛と興奮ですでに満ちあふれていました。するとさらに、グルマーイが話しました。グルマーイの美しい言葉を受け取れるとは、なんという祝福でしょう。

話の終わりに、グルマーイはいたずらっぽく言いました。「あなた方の美しい目が私を照らしていたら、ただ立ち上がってここを出ていくことはできないですね」

グルマーイはミュージシャンの一团に、このお祝いのタイトル「ジャンマディン・キー・ジェイ・ジェイ！」に合わせて、即興でメロディーを作るように頼みました。

ミュージシャンたちが歌と演奏を始めると、グルマーイは私たち皆に愛情いっぱいにはほほ笑み、そしてダルシャンに前に進むように私たちを招待しました。

次に続く...